

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT



水海道ロータリークラブ

本年度クラブテーマ

ENJOY ROTARY

SERVICE Above Self

2005-06 年度 国際ロータリー会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

例会予定

3月8日

外部卓話 デーブ大久保氏

3月15日

会員卓話 職業奉仕

3月22日

外部卓話 ハローワーク水海道所長

3月29日

休会 定款第5条により

VOL. 43 No.30 (通算No.2070)

2006年3月1日(水)例会プログラム

点鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

つくば研究支援センター 綿引典之様



2005～2006年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30

0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://kinuyou.com/rc/>

本例会でのおもな事項

* 会長挨拶

* 会員卓話

* タイ訪問報告 鈴木 豊会員

青木全弘会員

幹事報告 (熊谷 昇幹事)

週報受理 岩井RC、水戸RC、水戸西RC

例会変更通知受理 なし

会長挨拶 (青木清人会長)



サワディー カップ(こんにちは!!)

まだ、タイ訪問の興奮と感動が冷めておりませんが、冷めないうちに鈴木 豊IPPより、タイ訪問を虚偽のないよう真実の報告を詳細に卓話お願い致します。今、IPPと申しましたが、Immediate Past President 直前会長のことで、タイでは大変に尊敬を払われ、持ち上げられておられました。鈴木IPPも大変ご満悦でした。私も4ヶ月後にはIPPになりますので、皆様宜しくお願い致します。クラブ内では、鈴木IPPもSAAで少し不満であるかもしれませんが、SAAは例会において最高の絶対的な権限を与えられた役職です。PPがSAAを務めるのが好ましいと言われています。引き続き宜しくお願い致します。

本年度も残り4ヶ月になりました。1月のツウンバホームステイ、2月のタイ訪問の大きな山も過ぎ、あとは地区大会、親睦ゴルフ、観劇会で楽しくお酒でも飲んでいけば過ぎていくかもしれませんが、実は例会が15回残っております。クラブ目標の1つに掲げました外部卓話の充実のために、是非皆様より卓話者のご紹介をお願い申し上げ会長挨拶とします。

コクン マー カップ(ありがとうございました。)

会員卓話 青木全弘会員 「私の職業」



私の職業は小売業です。婦人服のミセス専門店の多店舗経営を主としてしています。婦人服の販売を通して、地域の女性の方々におしゃれを楽しんで頂き、生活のクオリティを上げるお手伝いをさせていただくのが私共の仕事です。婦人服の専門店でもメーカーブランドの店と、自社で独自のコンセプトを決めて、それに基づいてセレクトした商品で店作りをする店とがあります。私共は後者で、セレクトショップとも呼びます。

商売は、まず市場にニーズがあることが必要です。そして小売業の原点である、マーケティング、マーチャライジング、マネージメントの一連の活動が行われる事で成り立ちます。

マーケティングとは、商品を生産者から消費者へ円滑に流通させるために行う、販売についての調査や分析活動のことです。次のような市場調査をします。一つ目は、商圈内の人口、年齢構成、世帯数などの変動と動向、特に消費人口が増加しているか、減少しているかの傾向を知る事は大切です。現在、少子高齢化はますます進み、茨城県の高齢者の人数の比率は16.6%です。また消費をリードしてきた団塊の世代は定年になっています。二つ目は、消費者のライフスタイルの変化と動向です。消費者は多様化個性化が進み、購買意識、購買行動が急速に変わってきています。三つ目は、業界の構造の変化や競合店の動向などです。ショッピングセンターの大型化、また大型専門店の路面への多数の出店、食品と衣料品を軸とした複合型ショッピングセンターが増加しています。これらの情報や市場調査の分析から商

品やサービスの方向性を決めていきます。特に変化の激しい現在は、常に現状分析をすることが最も大切になってきています。

マーチャンダイジングとは、市場調査に基づいて商品化計画、販売計画をする事です。市場の情報収集やデータの分析をし、商品の動向を見ながら、商品の開発や仕入れに生かしていきます。近年は、産地の海外への移動もあります。昨年の衣料品の輸入は、35億点で、内、中国から32億6千万点、その他の東南アジアから2億2千万点、イタリア、フランスからは2250万点、その他イギリス、アメリカからも輸入しています。この様に生産供給基地が、以前とは大きく変わってきています。これにより流通ルートの変化が起こっています。また、インターネットの発達により、絵型などの情報を電送し、遠隔地や海外へ瞬時に送ることが出来るので、生産期間が非常に短縮されています。以前は、次のシーズンにしか同じものを作るのは間に合わなかったのですが、今は約二週間で作れます。しかし、直ぐに真似て同じものを作ることが出来るようになったため、類似品が出回り商品のライフサイクルは短くなってきています。一方、テレビや雑誌などのメディアにより流行が伝わるのが速くなり、流行の変化も早くなってきています。さらに原料という視点から捉えると、綿、毛、絹、麻などの天然繊維、最近では、竹や紙が原料の繊維もあります。ポリエステル、ナイロン、アクリル、レイヨン、ポリウレタンなどに代表される化学繊維の他、新しい機能(抗菌防臭、遠赤、UVカット、保温、マイナスイオンなど)を付与加工した糸、また違う種類の糸を絡ませ特色ある繊維が作られています。今年の夏の素材では、ジョーゼットやオーガンジーなどのエレガンス調の生地や、しわ加工して自然の感じを出した生地、機能的な伸縮性のある生地などは大変着易く好まれています。このように素材の面でも、次々と様々な特徴のある生地が作られています。これらの多くの情報の中から、自社のコンセプトによる商品計画や販売計画を進めています。

マネージメントとは、資産(人、物、金)を事業の目的達成のために効率よく運営管理することです。そのため、商品管理、売り場管理、要員管理などを適切に合理的に行う事が必要です。人の適材適所の配置、更にIT機器の活用による迅速な情報処理などです。私共では、店舗間の距離があるため、商品はコンピューターによる単品管理をしています。

この様な活動を通して、私達はお客様の満足第一と地域の中で存在意義のある店作りを目指しております。

タイ訪問報告 鈴木 豊会員



1、今回の訪問主旨について、

地区WCS(国際交流協同委員会)の2005～2006年度DDFマッチング・グラントの申請がRI財団より認可を受け、タイD33550地区やフィリピンD3830/3810t地区との共同事業(18件)が実現され、その中の一つが水海道RCでありもう1件が守谷RCのプロジェクトになっています。

水海道RC18468^{ドル}、ペッチャブーン県遠距離通学貧困児童への自転車贈呈(750台)タイD3350・5クラブ

守谷RC14000^{ドル}、ロブプリ県タサラ地区へのコンピューター支援 40台

タイD3350・6クラブ

今回は地区WCS山本委員長、地区委員、鈴木豊会員からお話を伺い、「こういう機会に恵まれることも何かの縁だ。大変良い機会なので参加しよう」と青木会長が決断し、年始の限られた時間でしたが参加を呼びかけ、9人の会員の参加を得ることができました。

2、参加会員 青木(清)会長、北村PG、鈴木豊WCS地区委員、松村エレクト、熊谷幹事、青木正副幹事、関根会員、山崎(進)会員、瀬戸会員(地区青少年交換委員長)、山本WCS委員(石岡87RC)

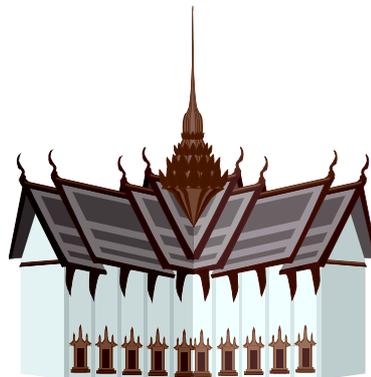
3、タイムスケジュール

2月10日(金) AM 8:20 成田発 (タイ航空)に機上

PM 3:20 タイバンコク着 バンコク・RCの方々が日本語横断幕でお出迎え

- PM 5:00 ホテル・パンパシフィック・バンコクに到着
- PM 7:00 ホテル・モンティアンにて歓迎レセプション。大変立派な会場でした。中央にヒトシ・キタムラの英文字看板。バンコク市内の関連クラブメンバー、外地方の2～3クラブ、次年度地区ガバナーなど50～60名の参加
青木会長。北村PGはお礼のスピーチ。参加メンバーはご紹介に満面の笑みで答えさせていただきました。
- 2月11日(土) AM 7:30 バスにてロブプリ県タサラ地区へ出発、パツムワンクラブのメンバー及びご夫人、D3350ソムサクPPとご夫人等々総勢15,6人でした。
- AM 10:30 ロブプリの小学校に到着、
守谷RCの支援プログラム、ロブプリRCクラブほか地域の方々の歓迎を受ける。(県知事同席)。学校内のPC教室見学、一回目の子ども達の歓迎の踊り。ステージ上でボタンを押すとプレゼント・ボックスのふたが開いてPCが出てくる粋な演出でした。
- PM 0:30 ペッチャープ県に出発
- PM 2:00 ドライブインで遅めの昼食。鳥料理とタイ米、野菜サラダとビールランチ終了後、山の上の上にあるホテルへテ出発
- PM 6:00 どんどん道を登って山岳リゾートホテルへ到着
- PM 6:30 歓迎レセプション(プールサイドパーティ)
2回目の子ども達の歓迎の踊り、そしてカラオケ・パーティ。日本語の歌は、スキヤキ・ソング「上を向いて歩こう」と昴と支那の夜の3曲でしたので、9人全員で日のローターリーソング(奉仕の理想)を歌いました。
- PM 9:30 終了。その後1時間くらい会長の部屋で山本地区委員から地区WCS活動のレクチャーを受けました。
- 2月12日(日) AM 8:30 ロムサク小学校へ出発。市内に入ったところから、パトカーほか1台の先導を受ける
- AM 9:10 ロムサク小学校へ到着
自転車贈呈セレモニー(地元選出国會議員同席)
90校対象 500台 (1校5～6台程度)
3回目の子ども達の歌と踊り。雨乞いの踊りで太陽がまぶしいのでサングラスを掛けているとのこと。雨が降ったようだと言われました。
- AM 10:30～45 市内移動し2校目に出発、到着
自転車贈呈セレモニー、40校対象 250台 (1校5～6台程度)
以前総和クラブが送った消防車がおいてありました。4回目の子ども達踊り、バリ風でした。
記念写真のオンパレードで寄贈された学校の先生と子ども達が次から次にいれ替わり立ち代りでした。この街には、水海道同様2名の交換留学生がブラジルからきていて大変楽しいと言っていました。
- PM 1:20 ロムサクを出発、一路バンコクへ
- PM 6:30 バンコク。ホテルへ到着(1日目と同じホテル)
- PM 7:30 パツムワンクラブ会長主宰のプライベート夕食会。
- 2月13日(月) AM 6:45 バンコク空港へ出発、お見送りをいただく
- AM 8:20 4月の地区大会での再会を約束し、帰国の途へ
- PM 3:15 成田着、
- PM 6:00 水海道へ無事到着





出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
49名	34名	15名	0名	18名

出席率 100.00%

ニコニコボックス (登坂 寛副SAA)

鈴木 豊IPP、タイ訪問の卓話虚偽のないよう宜しくお願い致します。 青木(清)会員

青木全弘様、本日職業スピーチ卓話宜しくお願いします。鈴木WCS、タイ旅行記とりあえず宜しくお願いします。 熊谷会員

WCS事業終わり無事タイ国から帰ってきました。 瀬戸会員

タイから無事帰国し、また先週水曜日ブラジルからの交換学生ジュリアンネさんが元気良く帰国されました。 鈴木(豊)会員

長らく欠席いたしましたので。 橋本会員

その他。 横山会員

例会欠席しました。 石塚(利)・松崎・草間 各会員

入金計 ¥19,000 累計 ¥1,473,000

ロータリー情報委員会より 一口メモ

最北のロータリークラブ:最も南のロータリー例会は、南極大陸のマランピオ・アンタルティダ基地RC、最も北は、アラスカのパローRC、最も高所はアルゼンチンのエル・アギラールRC(海拔4,880m)、最も低地はカリフォルニア州エル・セントロRC(海拔下12.2m)といわれている。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫